

鳥取市地域公共交通総合連携計画（案）のパブリックコメントの結果

1. パブリックコメントの実施概要

	内容等
意見の募集期間	・平成21年3月4日（水）～平成21年3月18日（水）
意見の提出方法	・郵送、FAX、電子メール（宛先：鳥取市都市政策課交通対策室） ・持参（場所：鳥取市都市政策課交通対策室、各総合支所産業建設課）
連携計画（案）の配布方法	・鳥取市ホームページからのダウンロード ・以下の場所での配布 市役所本庁舎1階 総合案内所 市役所駅南庁舎1階 総合案内 市役所本庁舎2階 都市政策課交通対策室 各総合支所産業建設課
その他	・鳥取市ホームページで以下の参考資料を添付 市民アンケート調査集計表 参考資料1（本市の人口等） 参考資料2（本市における公共交通の現況） 参考資料2-2（本市における公共交通の利用状況） 参考資料3（市民アンケート調査結果、本市における公共交通の課題等）
意見提出件数	・1名（電子メールによる提出）

2. 鳥取市地域公共交通総合連携計画（案）に対する意見と市の考え方

1) 全体的な感想

提出いただいた意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<ul style="list-style-type: none"> この案は公共交通のみならず、まちづくりや今後の都市経営を見据えた、大変素晴らしい案と思います。 この計画案が一人でも多くの市民に周知・理解され、各種施策が1つでも多く実現する事を期待します。 	<p>本計画（案）の目標の1つに掲げている通り「市民等との協働・連携による地域公共交通」（3頁）の実現に努めます。</p> <p>また「鳥取市生活交通会議」での議論や市民等の意見を踏まえつつ、適宜計画の妥当性をチェックし、必要に応じて計画の見直しを行いながら、より望ましい地域公共交通の実現に向けて取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後取り組むなかで参考とします。

2) 計画を進める上での意見

計画案の周知と進捗状況の公開について

提出いただいた意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<p><u>ウェブサイトの添付資料のファイルサイズを軽くして欲しい</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 計画案が市ウェブサイト公開されましたが、ファイルが重い（3.8MB）、ダウンロードに時間がかかりました。 <p><u>紙媒体により当計画の周知をして欲しい</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ウェブサイトでの公開は便利ですが、全ての市民が確認しているわけではありません。窓口配布でも同様で、現時点ではこの計画案を知らない市民が圧倒的多数と思われます。 今後、この計画案を具体化するにあたっては、ウェブサイトだけでなく、紙媒体を用いて広く市民への周知をして頂きたいと思います。 <p><u>市広報誌に当計画を添付してはどうか</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的には、計画案が正式に決まった時点で「とっとり市報」に添付する形で配布する事を提案します。 <p><u>計画の進捗状況等を市広報誌に定期的に掲載してはどうか</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 各種施策の実施にあたっては、その内容、進捗・達成状況等を市報へ定期掲載して頂きたいと思います。 	<p>今後、ウェブサイトを活用した情報提供（資料添付）を行う場合には、ファイルサイズの縮小化やファイルの分割などを行い、できるだけファイルサイズが大きくならないように配慮します。</p> <p>本計画が成案化した後には、できるだけ多くの市民の目につくような方法を検討し、公表します。</p> <p>ご提案のように、市広報誌に添付して配布する場合、チラシやリーフレット等を作成する必要があるため、費用面から考えて難しいと判断します。</p> <p>今後、本計画の実現を進めていく上で、市民の皆様への広報・情報提供は極めて重要と考えています。</p> <p>また、市広報誌の活用は、効率的でもあり大変有効な方法と考えており、今後、</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後の取り組みに反映したいと考えます。 今後の取り組みに反映したいと考えます。 対応は難しいと判断します 今後の取り組みに反映したいと考えます。

<ul style="list-style-type: none"> 市報の1/2～1頁を「鳥取市地域公共交通総合連携計画コーナー」として、様々な施策を定期的に紹介することを提案します。 <p><u>マスコミを活用したPRを進めて欲しい</u></p> <ul style="list-style-type: none"> マスコミに対する発信もこれまで以上に行って頂きたいと思います。 	<p>市ウェブサイトとともに市広報誌を活用した広報・情報提供を実施します。ただし、紙面の大きさや定期掲載の周期については今後の検討とします。</p> <p>これまでも、マスコミに対する情報発信は進めているところですが、今後もより積極的にマスコミへの情報発信に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後の取り組みに反映したいと考えます。
---	--	---

バス事業者の従業員の意見収集について

提出いただいた意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<p><u>市が、バス事業者の従業員から意見収集を行い、計画に反映させて欲しい</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 今回の計画案は、市民アンケート結果を分析してマーケティングに活用しており大変感服しました。 今後も各種施策の実施にあたって、アンケートを実施されると思いますが、利用者だけでなくバス事業者の従業員（運転手・窓口係員等）に対して、市が直接アンケートを行うことを提案します。 日々、利用者と接するバス事業者の従業員は意見の宝庫であり、バス事業者内や市には上がる程ではない利用者の些細な一言や問い合わせの中に、マーケティングのヒントが隠されている可能性があります。 本来、これらは事業者が行うべきですが、従業員は事業者に対して意見を上げることを躊躇するので、市がアンケートの主体となるのが良いと考えます。 	<p>今後、計画に基づいて各施策を進めていく中で、必要に応じてバス事業者の従業員からの意見収集を行うことは有効と考えています。</p> <p>ただし、全て市が主体になることは考えておらず、例えばバス事業者が主体的に調査を企画・準備して、市が意見収集の窓口になるなどの方法も考えられるため、バス事業者との連携・役割分担のもとで取り組むものと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後取り組むなかで参考とします。

3) 個別の施策に対する意見

[施策 No.1] 役割に応じたバス路線の配置（幹線系路線、支線系路線等）について

提出いただいた意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<p><u>路線バスの行き先番号も再編して欲しい</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 「施策 No.1」やその関連施策は、今回の計画案の目玉として、今後幾度かの実証を経て構築されるものと思いますが、その際には行先番号の再編も並行して実施して頂きたいと思います。 現在、路線バスに付与されている行き先番号は、10の位を方面別に区分して 	<p>市としても、路線バスのネットワークを利用者にとって分かりやすいものとするため、バス路線再編により路線自体を分かりやすくするとともに、方面別の番号表示・色分けを行うなどの路線表示の改善が重要と考えています。</p> <p>本計画（案）では、「公共交通マップの作成」（22頁）を行う上での課題・留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 計画に反映させます。 <p>（7頁の施策「No.1の課題・留意点に今後の検討内容として記述します）</p>

<p>1979(昭和 54)年に設定されたものですが、30年が経過した現在では、廃止や新設路線に対応していないのが実情です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、行き先番号が時刻表や案内にも載っていない例も多く、完全には活用されていません。 ・今後の路線見直しの際には、行先番号が案内の鍵になると思います。従来の枠に囚われずに大胆に見直すのが良いと思います。 ・鳥取駅前バスターミナルの乗り場番号と連動するのも、一つの策として提案します。(例: 3番乗り場から発車の岩倉行「3-1 市内回 岩倉」) 	<p>等として示していますが、「役割に応じたバス路線の配置(幹線系路線、支線系路線等)」(13頁)の課題・留意点等としても記述を盛り込みます。</p>	
---	---	--

[施策 No,11] 公共交通マップの作成について

提出いただいた意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<p><u>公共交通マップは絶えず更新して欲しい</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく見やすい地図を作成することの事で、完成が楽しみです。 ・今後、[施策 No,1]による路線見直しが実施されると思いますが、絶えずマップを更新して最新版が公開される事を希望します。 	<p>市としても、公共交通マップは、バス路線の変更に伴い、適宜情報更新を行うことが重要と考えています。</p> <p>本計画(案)では、「公共交通マップの作成」(22頁)を行う上での課題・留意点等として示しているところです。</p> <p>平成21年度に、公共交通マップの作成と併せて、定期的に情報更新を行うための方法(経費確保、体制・役割分担など)についても検討を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の検討内容として、既に計画に盛り込んでいます

[施策 No,17] ICカードの導入について

提出いただいた意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<p><u>ICカードの導入を進めて欲しい</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICカードは設備投資がかかり、しかもその投資自体がすぐに事業者の収支に影響しませんが、一旦採用すると利用者・事業者双方とも大変便利なシステムです。 ・是非とも採用を前提に進めて頂きたいです。 <p><u>ICカードの導入に際しては、「ICOCA」と互換性を持たせて欲しい</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・その際には、JR西日本の「ICOCA」と互換性があるシステムの採用が良いと思います。 	<p>市としても、ICカードの導入は、利用者・事業者双方にとって多様なメリットがあり、公共交通の利用促進策の1つとして有効な施策の1つとして認識していますが、初期投資に多額な経費が必要になるなどの課題もあるため、今後の適性や可能性を十分に見極めた上で判断したいと考えています。</p> <p>今後、ICカードの導入を検討するなかで、参考とさせていただきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の検討内容として、既に計画に盛り込んでいます ・今後取り組むなかで参考とします。

<ul style="list-style-type: none"> ・現在同社は米子支社管内での「I C O C A」採用は検討していない模様ですが、関西だけでなく岡山・広島地区でも使用出来るようになった「I C O C A」が、今後県内でも採用される可能性もあると思います。 ・公共交通総合連携の観点からも、バスとJRで互換性のあるシステムの採用は長い目で見ても賢明な選択と考えます。 		
--	--	--

その他の施策の提案

提出いただいた意見の概要	意見に対する市の考え方	意見の扱い
<p><u>バス停に表示されている時刻表を統一して欲しい</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、日ノ丸・日交両社のバス停に掲示されている時刻表の書式はバラバラです。 ・バス停への地図の貼付と併せて、市が音頭を取って統一化に動く事を期待します。 	<p>市としても、時刻表の統一は必要と考えます。日ノ丸自動車、日本交通に要請したいと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の取り組みに反映したいと考えます。
<p><u>バス停ポールは時刻表差込型のタイプを採用して欲しい</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス停への時刻表貼付は、両面テープで直接看板に貼付するのが鳥取では一般的ですが、古い時刻表を剥がすとテープ跡が汚く残ります。 ・今後の路線見直しや実証運行で、バス停の時刻表差換え頻度が高まる事が予想されますので、時刻表差込型のバス停看板の採用も検討に値すると考えます。近隣では全但バスや神姫バスが採用しています。 	<p>日ノ丸自動車、日本交通に要請したいと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の取り組みに反映したいと考えます。
<p><u>各バス停に番号を付けて欲しい</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線見直しが一段落した時点で、各停留所への番号付与も提案します。 ・これは「くる梨」で採用されていますが、県外からの観光客はこの番号を重宝しています。 	<p>日ノ丸自動車、日本交通に要請したいと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の取り組みに反映したいと考えます。